

おおいたの 農村民泊

人に触れ合う
グリーン
ツーリズム

待っているよ

さしでせ、ういせ



日本一のおんせん県おおいた  味力も満載

おおいたの“我が家”へようこそ。
わたしたちが  お待ちしています。



岡山から臼杵に移住してきました。自然農を営みながら農泊の受け入れをしています。自然農とは「耕さず、草や虫を敵とせず、農薬化学肥料を使わず」という考えの農です。畑は色々な草で覆われており、その中に野菜がたくましく育っています。そんな命ある野菜がメインの食事。寒い季節は薪ストーブで煮炊きをし、その火で暖まります。食事の後は、体の芯から温まる五右衛門風呂へ。少し昔な我が家で、何かを感じて頂けたら嬉しいです。

臼杵市

そよふく農園

高松 美恵



海と山が迎える大分空港から車で10分。国東の風が吹き抜ける小さな農園に佇む築150年の古民家を、夫婦2人でセルフリノベーションした瀟洒な宿へようこそ。手作りの窯（アースオーブン）で焼くピザや、無農薬無化学肥料の自然栽培で育てた自家製のお米とお野菜で作る料理は、素朴ながら自然の力をたっぷりたくわえています。心と体を大切にする感覚を思い出す、そんな温かなおもてなしでお待ちしております。

国東市

たまちゃんファーム

小玉 美香



見渡す限り山ばかり…。でも、空気はきれいだし、水はおいしい！一日中日当たりが良くて自然がいっぱいの我が家。ホットする時、目に映る周りの景色に感謝！そして、毎年たくさんのお実をつけてくれるブルーベリー。ありがたうの肥料をいっぱい効かせて…。農家は日々お天気との戦いですが、毎年お米やブルーベリーがおいしくできることを願って励みます。特別なことはありませんが「笑顔」があります！お近くに来られたら、どうぞお立ち寄り下さいませ!!

九重町

美瀬

飯田 かよ美

おおいたには他にも受け入れ農家があります。P9-10をご参照ください。



おかえり。よう来たな。

今から20年以上前に現在の
大分県宇佐市安心院町^{あしむ}で産声をあげた
日本式グリーン・ツーリズムとは、
「農家民宿」、「農家レストラン」、「農産物直売所」
のことを指します。
中でも「農家民宿」は、ごく普通の農家に泊まって、
家族と一緒に農村のありのままの暮らしを
体験することから「農村民泊」と呼ばれ、
世代や国籍を問わず注目を集めてきました。
また、農村だけでなく、
海辺や河川、渓谷、高原、離島など様々な地域で、
多彩な暮らしを体験出来るのも
大分県の特徴だといえるでしょう。
それぞれの地域に根ざした
暮らしの知恵と笑顔あふれる食卓。
心のふるさとを探しにでかけてみませんか。

農村民泊の前に
知って
ほしいこと

- 旅館やホテルとは異なり、宿泊約款はありません。
- 原則として1日1組の受け入れになっています。
- 素泊まり、朝食付き、夕食・朝食付きなどお選びいただけます。
- 寝巻きやタオル、歯ブラシなどをご持参ください。
- 受入家庭のお風呂も利用できますが、通常は近所の温泉や公共浴場をご利用いただいています。
- お酒や飲み物の持ち込みは自由です。（一部の民宿を除く）
- 旅館業法上では簡易宿所として位置づけられており、料理はおお客様との共同調理が義務づけられています。（但し、飲食店営業許可を取得している受入家庭はその対象ではありません）
- 医薬品医療機器等法（旧薬事法）でいかなる場合も飲み薬は提供できないことになっています。
- 不明な点や相談したいことがあれば、グリーンツーリズム研究会（P9・10）や受入団体の事務局に相談するとよいでしょう。

農泊発祥の地、 あじむ 安心院農家で 子どもたちの 一泊体験



スーパーでしか見たことがない玉ねぎを土の中から掘り出して喜ぶ子どもたち。野菜は人の手と自然の共同作業で生まれることを畑で学ぶ

1日目



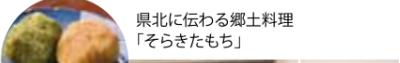
出迎え
遠くから
よう来たなー
迎えてくれるお父さんの
温かい笑顔にホッとする二人



おやつ
作り
おしゃべりしながら
みんなで作る作業で子
どもたちとの距離をぐん
と縮めていく



丸めたお芋のおもちに黄粉と
抹茶をまぶして



県北に伝わる郷土料理
「そらきたもち」



自ら作ったおもちを頬張る二人



農作業
畑に入るのもクワを持つのも初めての二人。
畑の達人に習っておそろおそろの畝上げ作業



サンチュとサニーレタスの
植え付けを習う。野
菜の成りたちを初めて知
る子どもたち



温泉
今夜は家から車で5分の場
所にある温泉施設で入浴。
必ず大人が引率して。



施設チケットを買う作業
でさえちよっとドキドキ

2日目



朝食
すっかり馴染んで我が家のような朝食風景



朝食メニュー キンピラは輝子お母さん、
卵焼きは薫お父さん作



葉っぱ
の
バッタ
「こうやって葉を割っていくんだ」シュロの葉
が見事なバッタに!



手作りのお土産に
驚きと感動!

あじむ 安心院農泊した 子どもたちに 待っていた冒険とは?!

迎えてくれたのは
大らかな自然と笑顔

農家だからできる体験に
興味しんしん



バスの窓から眺めた宇佐市安心院の雄大な景色を見るのも初めてだけど、農家で泊るのも初めてという都会っ子の二人。彼らを迎え入れたのは、菜園ハウス『かおる』の佐藤薫さん、輝子さんご夫婦。バス停で待つ薫さんは、初対面とは思えないほどの大らかな笑顔で、まるで遊びにくる親戚の子どもたちのように二人を迎えてくれました。

安心院グリーンツーリズム研究会の佐藤さんご夫妻は農泊を始めて13年間、日本全国からアジアまでおよそ1800名もの小・中・高・大学生を受け入れてきたベテランだけあって、おもてなしも自然体。ごく普通の農家の日常に、気負うことなく迎えるので、少し緊張気味だった子どもたちも次第にリラックスしていくのがわかります。



紹介を終えたら、早速子どもたちに菜園で採れたお芋で郷土料理のおやつを作り始める輝子さん。子どもたちも、輝子さんに教わりながら見よう見まねで初めてのおやつ作りに挑戦です。長旅でお腹も空いていたのか、できたの「そらきたもち」を夢中で頬張る二人。

「我が家はジュースや既成のスナックは出しません。すべて手作りなんですよ」と輝子さん。

「そのお芋が出来た畑に行くと、野菜の植え付けを一緒にしようか」と今度は薫さん。用意された長靴を履いて嬉しそうに薫さんの後を付いていく二人。

丹念に手入れされた畑で畝上げ作業と、サンチュの苗植え、玉ねぎの収穫までを体験。最初はお芋とクワを持っていた子どもたちもだんだん慣れた手つきになって作業が楽しそうです。最後は土の中から思いつき野菜を引っっこ抜いて大歓

声! 初日にして大きな収穫でした。そして、長旅と畑作業で頑張った体は地域の温泉施設で癒します。温泉に入るのも二人にとっては初めて。おやつ作りも、畑作業も、温泉も、農泊だからこそできる数々の「はじめて」体験に興奮気味の初日でした。

一泊二日の農泊がもたらしたもの

翌日は7時起床。すでに食卓には美味しそうな朝食が並んでいます。食卓を囲むのはもう、一つの家族のよう。佐藤家の猫の話、安心院の葡萄狩りの話、二人の学校の話など話題は尽きず、ご夫婦も子どもたちの話に真剣に耳を傾けます。すっかり農家に馴染んだ子どもたちも今日の午後には帰ります。

そんな二人へのお土産として薫さんが庭に生えるシュロの葉っぱで

バッタ作りを伝授。わずかな時間を惜しむかのように二人は真剣に作り方を覚え、作ったバッタで遊んだり、猫と遊んだり。最後に大分名物の唐揚げと散らし寿司の昼食をペロリと平らげた後、二人は帰り仕度。

「帰りたいくないな」「今度は夏休みに来ようよ」と話す二人に、「いつでも家はここにあるよ」「待ってるからね」と包み込むように笑う佐藤さんご夫婦。安心院の「お父さん」と「お母さん」と別れの握手をし、元気に手を振って佐藤家を後にしました。

短い滞在中に、作る楽しさや生活の知恵、自然の成り立ちなど、生きた教材で多くの学びを得た子どもたち。「ぜんぶが初めてだったから、何をしてもおもしろかった。」

わずか1泊2日の農泊時間が二人にどれだけ大きなものをもたらしたか、その満ち足りた笑い顔が物語っていました。

菜園ハウス『かおる』
宇佐市安心院町

佐藤薫さん、輝子さん

みんないい素顔に戻って帰っていくんです。それを見るのがわたしたちの楽しみなんですよ。

薫さんは今までに泊った生徒達のデータをすべてファイル。7年ぶりに訪ねてくる台湾の女性学生の名前もすぐに思い出せる。

家族で泊まった
農家民泊は
手作りの
温かさに満ちて



家族でコンニャク作りに挑戦。「今夜の夕食に食べれるよ」と忠夫さん。

緑と山に包まれた
名水の里、竹田市に
妻と娘と訪れました。

思わず「ただいま」と
言いたくなる家

城下町、名水、そして緑豊かな高
原の里としても知られる竹田市。こ
の地は祖父の故郷であり、幼少の頃
連れて来られた思い出が残る町で
す。その時の農村体験が忘れられ
ず、一度妻と6歳の娘を連れて来た
いと思っていました。念願叶って
「きちよくれ竹田研究会」事務局長
の羽田野さんの農家民泊『雲中坂』
に一泊することになったのです。

その日はまだ肌寒い小雨の日。だ
けど空気が澄んでいて、春の訪れを
感じる日でした。山間の一軒家に車
を近づけると同時に、にこにこ顔で
迎え入れてくれた羽田野さんご夫
妻。「よく来たよ来た」と握手を
交わし、娘と、妻も安心したように
笑っています。

この触れ合いを見ただけでここに
来てよかったと実感。思わず「ただ
いま」と言いたくなりました。

手作りの暮らしには
学びがいっぱい

早速案内してくれたのは二階の客



「コンニャク作り」



室。気持ち良さそうなベッドが並
び、窓からは里山の美しい風景が一
望。妻も思わず窓を開けて深呼吸。
すると下から「コンニャク作りする
よー」とご主人忠夫さんの声。

興味しんしんでご主人の後に付い
ていくと裏の作業場にはなんと竈が
設置。大きな二つの竈でコンニャク
芋を煮るのだそう。竈もコンニャク
芋も見るのは初めての私たち。竈か
らゆでたコンニャクを上げる作業を
娘と手伝います。キッチンストー
ブ、テーブルまで廃品や板で忠夫さ
んの手作り。その忠夫さんに習って
次は表の作業場で木工教室。木切れ
を利用して鍋しきから、木片パズ
ル、竹細工では竹トンボ、孫の手、
エンピツ立て、靴べらまで何でも作
り、教えてくれるそう。

“忠夫師匠”に教えを乞いながら
娘のおもちゃの一つも作れるパパに
なるぞーと、久々に熱が入ってしま
した。

自然の恵み三味の
豊かな食卓に感激！

木工に夢中になっていた私たちに
「寒いやろ、ぜんざいで温まって」

川の流れる音。ここでは喧騒の街
にはない、ゆるやかな時間が流れ、
一日の尊さを感じずにはいられま
せん。

散歩から帰るとちようど娘も起
床。部屋からお味噌汁のいい匂い
が漂い、気付けばお腹がべこべこ。
いつもはコーヒーしか飲まない私
が、お味噌汁も、竹田の水で炊い
たご飯も美味し過ぎて朝からおか
わり。

話題の豊富なご主人、働き者の
奥様のお話も楽しく、聞いている
だけであっという間に帰り時間が
来てしまいました。

来た時と同じ笑顔で握手をして
くれるお二人に、つい熱いものが
込み上げて来て「さよなら」が言
えずじまい。替わりにご主人が「ま
たね、また来るんだよ」の言葉に
やっとな顔を返すことができました。
次に来る
時にはきつと
大声で「ただ
いま！」と言っ
て帰ります。



「ふきのとう」

別れの言葉は
「さよなら」ではなく「またね」

昨夜はベッドに入るとすぐに就
寝。おかげで朝は早く目覚めてしま
い、早起きの妻と朝の散歩に。まだ
冷たさを含む春の朝の空気のみずみ
ずしさ、時折聴こえてくる鳥の声と



子どもの顔ほどもあるコンニャク芋にびっくり！

固めたコンニャクを再び茹でてやっ并完成



コンニャク作り



到着

山を背にして佇む二階建ての農家民泊『雲中坂』に到着



窓いっぱい自然が広がる明るい客室でホッと一息



木工

教えてもらいながら家族で木工時間

紙やすりをかけて最後の仕上げ



おやつ

パパと食べればぜんざいもさらに美味しく

お餅も羽田野家の手作り



夕食

自然の命をまるごと頂きます

夕食の話題は山から採ってきたふきのとうで盛り上がる



朝食

帰る最後の瞬間まで食卓は笑いが絶えない



あき子さんは台所に、忠夫さんはパソコンに。夫婦共同で農泊作業



この薪ストーブも忠夫さんの手作り

農家民宿『雲中坂』
おいた 竹田市

羽田野忠夫さん、あき子さん

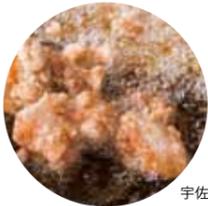
アジアや欧米からも
お客さんが来てくれる。
言葉は通じなくても
心の交流があるから通じるよ。



道の駅すどう



荻トマト



宇佐からあげ

道の駅

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 耶馬トピア (中津市) | 13. すどう (竹田市) |
| 2. やまくに (中津市) | 14. くにみ (国東市) |
| 3. なかつ (中津市) | 15. くにさき (国東市) |
| 4. 童話の里くす (玖珠町) | 16. 佐賀関 (大分市) |
| 5. 慈恩の滝くす (玖珠町) | 17. おおの (豊後大野市) |
| 6. いんない (宇佐市) | 18. あさじ (豊後大野市) |
| 7. ゆふいん (由布市) | 19. 原尻の滝 (豊後大野市) |
| 8. 水辺の郷おおやま (日田市) | 20. みえ (豊後大野市) |
| 9. 鯛生金山 (日田市) | 21. きよかわ (豊後大野市) |
| 10. せせらぎ郷かみつえ (日田市) | 22. やよい (佐伯市) |
| 11. なかゆ温泉 (竹田市) | 23. 宇自 (佐伯市) |
| 12. 竹田 (竹田市) | 24. かまえ (佐伯市) |
- (2018年3月現在)

里の駅

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 西谷温泉公園 (中津市) | 13. たかひら展望公園 (佐伯市) |
| 2. 双葉の里 (宇佐市) | 14. 歴史の里木浦名水館「名水の湯」 (佐伯市) |
| 3. 小の岩の庄 (宇佐市) | 15. ひぐらし茶屋 (大分市) |
| 4. 並石ダムグリーンランド (豊後高田市) | 16. 里の駅かわにし (由布市) |
| 5. 真玉温泉「スパランド真玉」 (豊後高田市) | 17. 石仏 (白杵市) |
| 6. 大分の空むさし (国東市) | 18. ここのえふるさと館 (九重町) |
| 7. ふるさと市場 R213 (国東市) | 19. 七福堂 (玖珠町) |
| 8. 横岳ふるさと茶屋「夢のぼり」 (杵築市) | 20. 豊後・大山ひびきの郷 (日田市) |
| 9. 杵築ふるさと産業館 (杵築市) | 21. やすらぎ交差点 (豊後大野市) |
| 10. 里の駅 かななわ蒸de喜屋 (別府市) | 22. 荻の里温泉 (竹田市) |
| 11. 別府 漁師市場 (別府市) | |
| 12. 大入島食彩館 (佐伯市) | (2017年4月現在) |

プラス 農産品直売所 道の駅・里の駅

北から南まで田舎に行くほど出会うのが「道の駅・里の駅」
その地域ならではの特産品、旬の野菜、そして足を延ばして行くほどの価値がある
個性的グルメが多彩に揃っています。道中の景色も楽しみながらお出かけください。

道の駅とは?

道の駅は休憩、情報発信、地域連携の機能を併せ持つ休憩施設です。
「おおいた」の地域ならではの特産物や情報が充実。ドライブを安心、快適にします。

里の駅とは?

農山漁村地域の豊かな資源、育まれた文化等の特性を活かした都市とムラとの交流を深めるための里めぐりの拠点です。



プラス 観光農園

収穫作業などを体験できる農園。大分県では古くからみかん狩りが有名でしたが、今では定番のいちごを始め、ぶどう、梨、ブルーベリー、トマトなど大分の豊かな自然を満喫できる観光農園が増えています。大分県内には果物のほかに栗拾いや芋掘りの体験ができる農園も。ずっしりとした収穫の喜びを是非ご体験ください。



プラス 農家レストラン

地元の方が集まって共同で運営したり、農家の方がご自宅を改装して経営しているレストラン。地元の産品をふんだんに使った本格的なメニューを扱ったレストランから、素朴な郷土料理や家庭の味が楽しめるお店までスタイルはさまざまですが、共通しているのは体に優しいメニューと地元の方の温かなおもてなし。訪れた地域の心地よさを実感できるひとときをお過ごしください。

「おおいた」のグリーンツーリズムの魅力は

農泊だけにとどまりません。

もっと一歩足を踏み入れれば、

自然の雄大さ、文化と歴史の深さ、豊かな食など、

さらなる「おおいたらしさ」に出会えます。

九州オルレ

見どころ、感じどころ、癒されどころ、満載のオルレコース

韓国済州島から始まった「オルレ」は、「通りから家に通じる狭い路地」という意味の言葉で、今は「トレッキングコース」の総称として使われています。「九州オルレ」は「済州オルレ」姉妹版。豊かな自然や文化を楽しみながら、あなたにぴったり合ったオルレコースを見つけてください。

山、川、海、草原、温泉…と大分県は恵まれた自然に囲まれています。美しい四季の表情を足で巡り、心で感じるオルレコースも満載です。

ダイナミックな大自然を味わいたいとき、「阿蘇くじゅう国立公園」内を歩く「九重・やまなみコース」がお勧めです。壮大な飯田高原、くじゅう連山を眼前にして、一步一步大地を踏みしめて歩いてください。

情緒と文化を味わうなら「奥豊後コース」のそぞろ歩きはいかがでしょう。豊後大野市から竹田市に至る約12kmの田舎道はどこか懐かしく、岡城址や歴史の道は時間の小さな旅にも感じることでしょう。秋には紅葉スポットの「用作公園」も見逃せません。

癒しを求めるなら「別府コース」を。標高600mの緑に囲まれたきれいな湖「志高湖」をスタートし、山々の尾根からの絶景を眺め、花菖蒲の名所である「神楽女湖」を通ります。

2018年3月にオープンしたばかりの「さいき・大入島コース」は佐伯湾に浮かぶ大入島でリアス式海岸の美しい海岸線や360度のパノラマ「遠見山展望所」からのぞむ景色など、ゆったり流れる「島時間」を堪能できるコースです。

農泊体験にプラス!

もっと自然の中へ。さらに「おおいたらしさ」を知ろう!



阿蘇くじゅう国立公園



大入島



志高湖



用作公園

登山道、ハイキング道、林道、古道などを合わせた長い距離の自然歩道を歩くロングトレイル。大分県では神仏習合発祥の地、国東半島峯道ロングトレイルが知られています。

六郷満山で知られる国東半島は、峯入り行として古くから多くの修行僧たちが雄大な自然の中を歩いてきました。その峯入り行をベースにトレイルとして再構築。国東ならではの豊かな自然に触れながらの登山道、遊歩道を楽しめるトレイルとして県内外からもトレイルファンが訪れています。歩けば目に飛び込んでくる景観、五感で知る文化、伝統など、神々しさを感じるロングトレイルコースです。

野仏、寺、石像、文化財なども目にしながら、穏やかな時間の流れに身を任せ、ゆったりと仏の里を堪能してみましょう。



大不動岩屋



狭間新池



ロングトレイル

時の旅をするように、穏やかに、景色を堪能しながらの国東半島ロングトレイル



詳しくは
大分県グリーンツーリズム特設サイトを
ご覧ください。
URL : http://www.visit-oita.jp/green_tourism/

とっておき! おおいたの グリーンツーリズム

16 地域のムラ自慢

ふんごおの
豊後大野市
グリーンツーリズム豊後大野市
農家民宿研究会
TEL: 0974-34-2921



大分の野菜畑と呼ばれるほど野菜の宝庫「豊後大野市」。新鮮な農産物や自慢の地鶏「豊のしゃも」で、食を通じた体験が楽しめます。平野に突如現れる珍しい滝「原尻の滝」や巨大な岩壁に彫られた磨崖仏も必見です。

おぎりはた
ひた
白田市
おあやま
大山
小切畑グリーン・ツーリズム研究会
TEL: 0973-52-2644



日田市大山町は今年で38回を迎える梅祭りでも有名な梅の名所で、多くの方が花見に訪れます。近くに温泉もあり、四季折々ゆつくりと楽しめます。大山の特産物販売所「木の花ガルテン」にもぜひお越しください。

きつき
杵築市
やまが
山香町
山香グリーンツーリズム研究会
TEL: 090-2585-4206
http://www.kit-suki.com/stay/index.php?action=story&story_id=464



季節ごとに異なる農作業、牛や小動物とのふれあい、椎茸の駒打ち、牛乳によるアイスクリーム作り、石釜によるピザ作りなど沢山のメニューを取り揃えた感動の一日で会員一同のこもったおもてなしをいたします。

くにさき
くにさき
国東市
国東市観光協会
グリーンツーリズム事業部
TEL: 0978-72-5168
<http://www.e-kunisaki.com>



神仏習合で知られる六郷満山文化に触れ、海と山を同時に感じることができる場所が国東。いにしえから現在まで続く僧侶達の修行の道を発展させた峯道ロングトレイルや世界農業遺産にまつわるため池巡りも体験できます。

ひた
白田市
つえ
津江
津江の郷ハートツーリズム研究会
TEL: 0973-54-3325
<http://www.tuegurashi.com>



日田市の津江地域は全国的に有名な杉材の産地。深緑の杉が整然と植えられた山の景観は感動的です。溪流釣りが気軽に楽しめるフィッシングパークや東洋一産出量を誇った鯛生金山など見どころもいっぱい!

あまがせ
ひた
白田市
あまがせ
天瀬
天瀬グリーンツーリズム研究会
TEL: 0973-57-9301



天瀬は標高250~500メートル程のなかに、約1,300年の歴史がある名湯天ヶ瀬温泉を始め、高塚愛宕地蔵尊、五馬高原などを有する自然豊かな山里地区です。地元で手作りしている「柚子ごしょう」も自慢の一品です。

きつきよむ
うすき
臼杵市
のつ
野津
吉四六さん村
グリーンツーリズム研究会
TEL: 0974-32-7181
<http://www.kichi46gt.com/>



「うすき100年弁当」で、地元で伝わってきた味や地元産食材を100年先までつなげ、食べた後は全て土に還るような、「食」の在り方を提案しています。

うすき
臼杵市
のつ
野津
臼杵市グリーンツーリズム研究会
TEL: 090-2507-6847



野津の田野地区の自然素材を生かし、春にタケノコ・秋にサツマイモの収穫、自家製の柚子胡椒づくりなどの体験イベントを楽しんでいます。

ここのえ
九重町
九重「グリーン・ツーリズム」研究会
TEL: 0973-76-3804



当研究会の会員である時松和弘さんは築200年を超える屋敷で農家民宿を営んでおり、玖珠弁で流ちょうに語られるお話はとても面白く、暮らしになくはない知恵ばかりです。薪の火の温もりとともに伝統食を味わえます。

くす
玖珠町
玖珠町グリーンツーリズム研究会
TEL: 0973-72-7164
<http://kusumachi.jp/gttaiken.html>



玖珠町は日本棚田百選に認定された棚田の里です。また、滝の裏側を歩ける「慈恩の滝」、日本遺産に認定された「やばけい遊覧」の一角である名勝「立羽田の景」など、ここにしかない絶景がたくさんあります。

ゆふ
由布市
由布市グリーンツーリズム研究会
TEL: 097-582-2423



由布市には海外でも有名な由布院温泉があり、自然豊かで男池や由布川峡谷などの景勝地も多く、キャニオニングなど大自然を体感するアクティビティや、神楽の衣装を身に付けて舞いを学ぶなど貴重な体験が楽しめます。

さいき
佐伯市
さいきグリーンツーリズム研究会
TEL: 080-1783-3130
<http://www.yappa-saiki.sakura.ne.jp/saiki-gt/gt/>



九州オルレさいき・大入島コースは本年3月10日にオープンしました。県南初のオルレコースで、海岸線を歩くと海が身近に感じられます。大入島は人口700名ほどの離島で、地域の方々があたたかく迎え入れてくれますよ!

ふんごたかだ
豊後高田市
豊後高田市
グリーンツーリズム推進協議会
TEL: 0978-25-5805
<http://bungotakada-gt.com/>



豊後高田市は古くからの伝統を大切に守り継いできた地域です。農業では「ため池とクヌギ林を使った循環型農業」が評価され「世界農業遺産」の認定を受けました。豊かな自然の中で魅力的な伝統農業にふれてみませんか。

うさ
宇佐市
あじむ
安心院
NPO法人
安心院町グリーンツーリズム研究会
TEL: 0978-44-1158
<http://www.ajimu-gt.jp/>



作家の司馬遼太郎氏が『盆地の景色としては日本一』と絶賛し、松本清張氏の小説「陸行水行」では『早春の頃だと朝晩霧が立ち込み墨絵のような美しい景色となる』と紹介されるなど、風光明媚な盆地の町です。

さいき
佐伯市
かまえ
蒲江
NPO法人
かまえブルーツーリズム研究会
TEL: 0972-42-0115



蒲江では「海底から大空まで」いろんな体験ができることが自慢です。お宿、食事、買い物、変わったところでは渡世大学の現地芸能人の講話もあります。国定公園の自然を堪能できるウォーキングもおおすすめです!

たけた
竹田市
来ちよくれ竹田研究会
TEL: 0974-63-0585
<https://www.taketan.jp/kichokure/>



大自然に恵まれた環境の中に「久住高原童心回帰農場」があります。その名の通り、大人でも子供のように遊べる場所です。「ロン爺の空飛ぶブランコ」や「草ソリ」で非日常を味わおう!



Access

※各交通機関の所要時間は目安です。便によって異なる場合がございます。

飛行機	発着	所要時間	便数	航空会社
飛行機	東京(羽田)→大分	1時間25分	14便	ANA/JAL/SNA
	東京(成田)→大分	1時間35分	1~2便	ジェットスター
	大阪(伊丹)→大分	55分	7便	ANA/JAL/IBEX
	名古屋(中部)→大分	1時間10分	2便	ANA/IBEX

JR/特急	区間	所要時間	列車種別
JR/特急	東京→大分	6時間30分	新幹線(小倉乗継)~特急(日豊本線)
	新大阪→大分	3時間50分	新幹線(小倉乗継)~特急(日豊本線)
	博多→大分	2時間	特急(日豊本線) 小倉経由
	小倉→大分	1時間20分	特急(日豊本線)
	熊本→大分	3時間	特急(豊肥本線)
	宮崎→大分	3時間06分	特急(日豊本線)
	久留米→大分	1時間40分	特急(久大本線)

高速バス	区間	所要時間
高速バス	福岡→大分「とよのくに」	2時間25分
	長崎→大分「サンライト」	3時間57分
	熊本→大分「やまびこ」	4時間30分
	京都・大阪・神戸→大分「SORIN」	12時間20分
	名古屋→大分「ぶんご」	11時間30分
	宮崎・延岡→大分「パシフィックライナー」	3時間25分
北九州→大分「ゆのくに号」	2時間38分	

フェリー	航路	所要時間	便数	運行会社
フェリー	大阪・南港→別府	11時間50分	1便	フェリーさんぷらわあ
	神戸→大分	11時間20分	1便	フェリーさんぷらわあ
	八幡浜→別府	2時間50分	6便	宇和島運輸
	宿毛→佐伯	3時間10分	3便	宿毛フェリー
	徳山→竹田津	2時間	5便	スオーナダフェリー
	三崎→佐賀関	1時間10分	16便	国道九四フェリー
	八幡浜→臼杵	2時間25分	14便	宇和島運輸/九四オレンジフェリー

お問い合わせ先

大分県観光・地域振興課、公益社団法人ツーリズムおおいた

URL: http://www.visit-oita.jp/green_tourism/ おおいたグリーンツーリズム 検索



制作 佐伯印刷株式会社
発行 2018年3月